



第2回九州スーパーシニアカップ

競技報告 (2016/ 6. 16)

写真と記事 : M. Kikutake

81歳で76ストローク（4オーバー）

目野邦彦（小郡）

エージシュートを達成して初優勝

「第2回九州スーパーシニアカップ」が6月16日、福岡県小郡市の小郡カントリー倶楽部（5695㌦、パー72）で行われ、小郡をホームコースとする81歳の目野邦彦が4オーバー、76で回り、エージシュートを達成して初優勝した。

80歳以上（基準日は12月31日現在）のゴルファーを対象にした大会で、以前は九州グランドシニア選手権の「80歳以上の部」として18ホールストロークプレーで行われていたが、参加者の増加から昨年、単独の大会として独立して「スーパーシニアカップ」として開催。

過去最多の72人が参加

今大会には、過去最多を記録した昨年よりもさらに7人増えて、計72人が参加（欠場8人）。スタート後に降り出した雨は降りやまず、コンディションには恵まれなかったが、スーパーシニアたちは文字通りスーパーなプレーを披露した。

そんな中で目野は前半、2番から4連続ボギーとボギーが先行。その後1バーディーを奪い、39で折り返した。後半も11番でボギーが先行したが、その後は2バーディー、2ボギーとまとめ、2位の前々回優勝者、83歳の廣重俊一（福岡サンレイク）に2打差をつけて勝利を手にした。さらに1打差の7オーバー、79に3人が並んだが、年長者上位の大会規定により、3位に安藤喜三郎（大分中央、83歳）、4位吉永慎二（武雄嬉野、80歳）、5位平田晃宏（若松、80歳）の順位になった。前回優勝の中村保（長崎国際、81歳）は85のスコアで21位だった。

エージシュート 計13人が達成

毎回、スーパーシニアたちのエージシュートが話題になるが、今大会も過去最多の計13人が記録。大会を盛り上げた。達成者には開催コースの小郡CCから記念品が贈られた。

【晴れのエージシューター】

今大会での達成者は次の通り。

▽優勝＝目野邦彦（小郡）81歳でスコア76S

▽2位＝廣重俊一（福岡サンレイク）83歳、78S

▽3位＝安藤喜三郎（大分中央）83歳、79S



- ▽4位=吉永慎二（武雄嬉野）80歳、79S
- ▽5位=平田晃宏（若松）80歳、79S
- ▽6位=杉山利夫（チェリー小倉南）84歳、80S
- ▽7位=池田正伸（小郡）83歳、81S
- ▽8位=天本惇（小郡）81歳、81S
- ▽9位=石塚重利（中九州）81歳、81S
- ▽10位=河野信正（久山）81歳、81S
- ▽17位=河室健士（大分）84歳、83S
- ▽23位=岡村精二（あつまるレーク）87歳、86S
- ▽34位=貝島義雄（古賀）89歳、89S



3パットが5回… 優勝にも反省が口をついた目野邦彦

降りしきる雨の中で、コンディションに恵まれないラウンドだったが、76と安定したスコアで回り、初優勝の目野邦彦。81歳。ルーキーイヤーの昨年は82のスコアで7位だったが、ことしは一挙に頂点に立ち、それもエージシュートを達成しての優勝で、ゴルフ仲間の祝福に表情をほころばせた。

ホームコースだからといって、特別に緊張することもなかったらしい。

しかし、出だしの東コース（アウト）で2番から4連続ボギー。その後、16番までに3バーディー、1ボギーと盛り返したものの、上りの2ホールでまた連続ボギー。結局この日は3バーディー、7ボギーだったが、ボギー7つのうち、実に5つが3パット。「雨は関係なかった。とにかく、（パットで）ショートばかりで…」と苦手のパッティングを克服できなかったことをぼやいた。

友人に勧められて30歳でクラブを握り、ざっと50年のキャリア。小郡市内に住み、小郡CCがオープンした翌年に入会した。プラスチック包装資材の会社を34、5歳の時立ち上げ、現在も顧問として毎日出社する「現役、だという。

だから、ゴルフは週末に限られ、ホームコースでのラウンドは月に2～3回。それでいてクラブではこれまでに、クラブ選手権のシニア2回、グランド5回、ゴールド1回で優勝しており、知られた存在だ。ベストスコアは69歳の時に出した69。以来、エージシュートは？ には、「う～ん、何回になるか…」と頓着しない。

喘息の持病があり、「年に1回ぐらい発作が出る」。しかし、「とくに健康法があるわけではない」と言い、たまの練習とゴルフでのラウンドが健康法のような。

参加最年長 93歳の白石清（久山）（104のスコアで69位に沈んで…）「8番で池ポチャやらで11もたたいた。あれで今日は終わった。1ホールでの最多打数かもしれん。

前々回優勝の廣重俊一（福岡サンレイク）（2打差の78で2位）前半、1打ぐらいのバーディーパットを3回ぐらい外した。けど、この雨の中で、まあまあのゴルフ。優勝を逃したことよりも、599回目のエージシュートを達成できたことを喜びたい。